

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	山口大学医学部附属病院における肝硬変の成因と病態の推移に関する継続的調査研究		
② 実施予定期間	実施許可日 から 2031 年 12 月 31 日		
③ 対象患者	対象期間中に当科で肝硬変症と診断された患者さん（既知の肝硬変による紹介も含みます）のうち、初診時に肝がんの合併や既往のない方		
④ 対象期間	2006 年 1 月 1 日 から 2029 年 12 月 31 日 追跡期間は2030年 12 月 31 日まで		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	第一内科		
⑦ 研究責任者	氏名	久永 拓郎	所属 第一内科
⑧ 使用する情報等	当科で肝硬変と診断された患者さん（既知の肝硬変による紹介を含みます）について、年齢、性別、肝硬変の成因や併存疾患などの背景因子の他、治療経過、血清アルブミン値、ビリルビン値、プロトロンビン活性などの血液検査データ、肝性脳症や腹水の有無、またこれらを基に算出した肝硬変の重症度、予後（肝発がんや生存期間など）について情報を収集します。		
⑨ 研究の概要	近年、肝硬変の原因疾患はB型肝炎やC型肝炎の治療の進歩および肥満人口（脂肪肝の有病率）の増加などにより、ウイルス肝炎の減少や脂肪肝、アルコールの増加など全国的にも大きく変化していると考えられています。また、腹水、肝性脳症や食道胃静脈瘤など肝硬変の合併症に対する治療法が進歩しているほか、成因による肝発がんリスクの相違などにより、肝硬変患者の予後も変化していると考えられています。 上記の情報を基に、当院における肝硬変の原因疾患の割合の経時変化、原因疾患別の重症度や予後の変遷を明らかとします。		
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2025 年 5 月 26 日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。 詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。		

⑮ 研究の資金源	第一内科の奨学寄付金を使用します。			
⑯ 利益相反	ありません。			
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 第一内科 担当者：久永 拓郎			
	電話	0836-22-2241	FAX	0836-22-2240